

## 小児がん支援事業について

### 目 的

小児がんは診断後、長期にわたって日常生活や就学・就労に支障をきたす場合があり、患者の教育や自立、患者を支える家族に向けた長期的な支援や配慮が必要である。

平成 25 年度に実施した患者実態調査において、診断直後、退院時、患児の成長とともに、疾病に関することをはじめ、就学、就労、経済面等、多岐にわたる問題が生じていることが確認できており、それらに関する相談支援を求める声が挙がっていた。

小児がん患者とその家族が安心して、適切な医療や支援を受けられる環境整備のひとつとして、相談の機会を確保するとともに、情報提供のための冊子を作成する。

### 取 組 状 況

#### 1. 小児がん患者とその家族向け情報提供冊子の作成

「《患者・家族向け情報誌》安心して闘病生活を送るために」

冊子の掲載内容については、県HPをご確認ください。

[https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/gan/syouniganntaisaku/documents/syounigan\\_jouhouteikyousassi\\_saisyuuban300621.pdf](https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/gan/syouniganntaisaku/documents/syounigan_jouhouteikyousassi_saisyuuban300621.pdf)

発行：平成 28 年 3 月（1,500 部）

配布先：県内の小児がん診療施設、がん診療連携拠点病院等、健康福祉センター、市町村等



#### 2. 相談支援

(1) ピアサポーター研修会 ※実施後アンケートについては参考資料 2-1、2-2 参照

【 目 的 】 仲間による支援（ピアサポート）は患者や家族の大きな支えとなることから、ピアサポーターとして患者や家族の支援活動に参加できる人材の育成を目的として、平成 28 年度、29 年度に小児ピアサポーター研修会を開催した。

【 対象者 】 小児がん経験者及び遺族を含むその家族、きょうだいで、ピアサポーターとしての支援活動に関心のある方

【 内 容 】

平成28年度	< 1 日目 >平成29年3月13日 (月)	< 2 日目 >平成29年3月23日 (木)
参加人数	16名	14名
研修① 13:35~15:45	「活動するための心構えと基本的姿勢 ー傾聴ー」 講師：寶川由美子氏 (臨床心理士)	「活動するために知っておきたい医学的 知識」 講師：沖本由理氏 (医師)
研修② 15:55~16:25	「ピアサポート活動をするうえで 心がけていること」 講師：井上富美子氏 (認定NPO法人MCCF理事長)	「ピアサポーターとして医療知識が 必要な理由とその使い方」 講師：井上富美子氏 (認定NPO法人MCCF理事長)

平成29年度	< 第 1 回 >平成30年2月8日	< 第2回 >平成30年2月15日
参加人数	10名	11名
内容	講義 「活動するために知っておきたい医学的 知識」 講師：沖本由理先生 (医師)	講義及びグループ演習 「相談対応をみんなで考えよう」 講師：沖本由理先生 (医師) 井上富美子氏 (認定NPO法人 MCCF理事長) 千葉県こども病院看護師 2名

(2) 講演会・交流会の開催 (ピア・サポートサロン (茶話会) として開催)

【 目 的 】 小児・A Y A世代のがんに関する適切な情報を提供するための講演会及び、  
患者や家族の交流の場を提供することを目的とした交流会を開催した。

①平成30年度 小児がん経験者とご家族の講演会・交流会

【 日 時 】 平成31年3月11日 (月) 13時30分~16時00分頃

【 対 象 者 】 小児がん経験者、その家族、きょうだい (遺族を含む)

【 内 容 】 講 演「小児がんの子どもの家族と共に

~会に寄せられた相談から~」

公益財団法人 がんの子どもを守る会 ソーシャルワーカー

体験談「小児がん経験者家族の体験から」

小児がん経験者家族

交流会

【参加人数】13名

②令和元年度 小児・AYA世代がんの講演会・交流会

※新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため中止

【日時】令和2年2月29日（土）13時30分～16時00分頃

【対象者】小児・AYA世代のがん患者、経験者、その家族

【内容】講演「小児・AYA世代のがん患児・家族の抱える悩み

～会に寄せられた相談から～」

公益財団法人 がんの子どもを守る会 ソーシャルワーカー

体験談「小児がん経験者の体験から」

小児がん経験者

交流会（ピアサポーター研修会の参加者にファシリテーターを依頼）

～相談支援の経緯～

相談の機会を確保するためには、相談に対応する活動する人材の確保が必要と考え、平成28年度、平成29年度にピアサポーター研修会を開催した。

平成28年度のピアサポーター研修会実施後アンケート（参考資料2-1）では、「ピアサポーターとして活動してみたいと思う」、「やや思う」と全員から回答があった一方、「責任が重い」、「時間的な余裕がない」、「専門的訓練が必要」、「研修会や経験者が集まる会を今後も開催していただきたい」という意見が寄せられた。

ピアサポーターの活用については、県が主体となってピアサポーターの質を確保することや、ピアサポーター研修会の参加者に一般の方の相談を受けていただく体制を整えることは現時点では難しいと判断し、平成30年度からは、講演会・交流会を開催している。交流会では、ピアサポーター研修会の参加者にファシリテーターをお願いすることで、交流会参加者とのピアサポートの場とした。

## 今後について

### 1. 小児がん患者とその家族向け情報提供冊子

- ▶印刷費の予算の関係で製本はできないが、今年度実施した小児がん医療機関実態調査の結果をもとに施設の情報を更新し、県HPで公表する。
- ▶内容について追加・修正した方が良い項目があれば、御意見をいただきたい。

### 2. 相談支援

#### (1) ピアサポーター研修会

- ▶ピアサポーターの活用を含め、今後の方向性を検討する。
  - ① 研修会を継続的に実施していく必要があるか。
  - ② ピアサポート活動を継続可能な方がいるか。(時間やスケジュールの問題から)
  - ③ 研修参加者(ピアサポーター)の活用方法  
(サロンを開催する場合、開催場所、開催時の責任はどこが担うか。)

#### (2) 講演会・交流会の開催(ピア・サポートサロン(茶話会)として開催)

- ▶小児・AYA世代のがん患者、経験者及びご家族を対象とし、適切な情報を提供するための講演会、交流及び相談の機会として交流会を継続的に開催する。(令和2年度は2回開催する予定。)講演会テーマ、開催場所、開催時期についてご意見をいただき、次年度の開催に向けた具体的な方法を検討する。
  - ① 1回目は令和2年2月29日(土)開催を予定していた、「小児・AYA世代がんの講演会・交流会」と同様の内容で来年度上半期(5~8月)に開催する。
  - ② 2回目の開催内容についてご意見をいただきたい。  
(講演会・交流会のスタイルの開催でよいか、小児がん・AYA世代がん患者やご家族向けの講演会テーマはどのようなものがよいか。)